

平成 26 年度 自己評価結果を踏まえた学校関係者評価報告書

柴田町立槻木中学校

1 評価期間 平成 26 年 12 月～平成 27 年 2 月

2 学校関係者評価委員

加藤盛（委員長）、平間幸弘（副委員長）、
高橋英嗣、加藤幸恵、高橋謙一、松田ゆう子
永山晋（校長） 渥美寿彦（教頭） 佐藤広昭（主幹教諭） 佐藤伸弥（教諭：教務主任）

3 評価規準

- 妥当である。 (適切な取組で、次年度へ向けての取組も妥当である)
- 妥当でない。 (取組が不十分で、次年度へ向けての改善策も妥当でない。)
- 判断することができない。

※自己評価の数値の算出方法

教職員の自己評価で、A：大変良い・・・10点、B：良い・・・5点、C：課題がある・・・-5点、D：かなり課題がある・・・-10点とし、各項目の合計点数を教職員数で割った値。

4 評価項目

1. 地域に支えられ「地域と創る学校」づくりの推進

		自己評価	関係者評価
(1)	学校運営に対する地域住民・保護者等の参画と意見・要望の反映を図り、信頼される学校づくりに努めている。	6.3	妥当である。
(2)	学校の教育内容や実践を、保護者や地域に積極的に公開し、開かれた学校づくりに努めている。	6.3	妥当である。
(3)	保護者の支援や地域の教育力を生かし、学校の教育活動の一層の充実を図っている。	6.1	妥当である。
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(1)	生徒、地域、学校の実態を踏まえた学校教育目標を設定し、教職員が一丸となって指導に当たってきた。次年度も学校と家庭の連携を図っていききたい。	○妥当である。 ○PTAも引き続き協力していききたい。 ○情報の発信については、工夫があってもよい。必要であるかもしれないが、保護者はメールに頼りすぎのような感じを受ける。保護者をもっと子どもと話をし、学校から配布された便り等を見たりPTA活動に参加したりするべきだと思う。	
(2)	学校だより等を通して、生徒の活動を紹介してきた。一層の情報発信に努めていききたい。		
(3)	PTAの方々を中心に、フラワーコーディネーター等の地域の方々の協力を得ながら教育活動を進めてきた。次年度も地域との連携を図っていききたい。		

2. 「学力向上」と新学習指導要領の趣旨の徹底

		自己評価	関係者評価
(4)	「学力向上」を目指して、指導方法の工夫・改善を図るとともに、個性を生かした楽しく分かる授業の実践に努めている。	4. 8	妥当である。
(5)	学習意欲の向上と生活習慣・学習習慣を改善し、主体的な学習を促して基礎学力の向上に努めている。	4. 0	妥当である。
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(4) 年3回の研究授業を行い、学力向上のための実践を行ってきた。少しずつではあるが、学力の向上は見られた。次年度は、研究主題の変更も視野に入れ、さらに工夫をしていきたい。		○妥当である。 ○学力は伸びているようである。引き続き尽力していただきたい。	
(5) 長期休業日の課題、WEEK課題、考査前の自主学習会等により、学習習慣の確立に努めてきた。学習への意欲や習慣を高める取組を継続していきたい。			

3. 豊かな人間性を育む道德教育の充実

		自己評価	関係者評価
(6)	「道德の時間」の実施時数の確保と指導方法の工夫改善を行い、道徳的实践力を高めるとともに、教育活動全体を通じた道徳的实践意欲の向上に努めている。	4. 5	妥当である。
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(6) 道德の時間を中心に教育活動全体を通し、道徳的实践力の向上に努めてきた。次年度は、特に「思いやり」の心の育成に力を入れていきたい。		○妥当である。 ○道徳的实践力を身に付けることは大切である。登校時にごみ拾い登校などをしてみてはどうか。あいさつは、子どもたちはよく知っているのですが、大人がお手本を示すようにしていきたい。	

4. 生命の尊重と社会性の育成を図る生徒指導の充実

		自己評価	関係者評価
(7)	「いのちと心を大切にすること」及び「良好な人間関係をつくること」が重要であるという共通認識のもと、いじめや不登校のない学校づくりに努めている。	5. 5	妥当である。
(8)	児童生徒の発達段階にふさわしい生徒指導を推進し、家庭と連携して基本的な生活習慣の育成に努めている。	6. 0	妥当である。
(9)	児童生徒に自己の特性を、理解させるとともに能力・適性や興味・関心等に基づいて将来の生き方を考えさせる志教育・キャリア教育の充実に努めている。	5. 8	妥当である。
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(7) 日頃から、自他を大切にすることについて指導し、いじめや不登校の防止、早期発見のためにアンケート等を行った。本校の課題として受け止め、次年度も力を入れていきたい。		○妥当である。 ○先生方の日頃の目配りが効果を上げており、子どもたちは確実に成長している。	
(8) 生徒の細かな変化を見逃さないように心がけ、心配なことは家庭との連絡を密に行ってきた。次年度も家庭との連携を継続していきたい。			
(9) 職場体験やキャリアセミナー等の行事とともに、年間を通して、キャリア教育、志教育を進めた。3年間を見通した教育を推進していきたい。			

5. 安全・安心な教育環境の整備・促進

		自己評価	関係者評価
(10)	児童生徒の安全に対する意識を高めるための指導や「防犯教室」を実施して児童生徒の安全確保に努めている。	7.0	妥当である。
(11)	地震災害等を想定した「避難訓練」「引き渡し訓練」「防災教室」を実施している。	8.5	妥当である。
(12)	「子ども見守隊」「安全パトロール隊」など地域の支援を受けて、通学路の安全確保や地域の巡回などを行い、事故や事件の被害を未然に防止している。	7.0	妥当である。
(13)	生涯体育・スポーツの視点に立ち、健康でたくましい児童生徒の育成に努めている。	6.0	妥当である。

自己評価結果から次年度へ向けて	学校関係者による主な意見
(10) 学年ごとに「防犯教室」「携帯電話安全教室」「薬物乱用防止教室」を行った。次年度も交通安全を含めた指導を継続していきたい。	○妥当である。 ○安全・安心のための学習や巡視には、引き続き協力していきたい。
(11) 「避難訓練」「引き渡し訓練」とともに、防災月間を設定し、防災に関する様々な学習を行った。次年度も継続し、生徒の防災意識と技術を高めていきたい。	○登校時の並列歩行や自転車のヘルメット着用の指導を継続してほしい。
(12) PTAや地域の方々の協力を得て、巡視やあいさつ運動を行った。大きな事件、事故はなかったため、次年度も継続していきたい。	
(13) 保健体育の授業、部活動、生徒会主催の駅伝大会等で、たくましい生徒の育成に尽力してきた。保健指導についても、校医の指導のもと、保健だよりを中心に健康な体づくりのための指導を行った。	

6. 特別支援教育の充実

		自己評価	関係者評価
(14)	特別支援の指導体制が整っており、特別な支援を必要とする児童生徒のニーズに応じた指導を行っている。	5.5	妥当である。
自己評価結果から次年度へ向けて	学校関係者による主な意見		
(14) 保護者との連絡を密に行い細やかに対応してきた。特別に支援を要する生徒が多く、人的な不足が否めないが、次年度も細やかな支援をしていきたい。	○妥当である。 ○細やかに指導していただいている。		

7. 国際理解教育の促進

		自己評価	関係者評価
(15)	自国文化に対する理解を深めるとともに、他国文化に学ぶ国際理解と国際化に対応した教育の推進に努めている。	5.0	妥当である。
自己評価結果から次年度へ向けて	学校関係者による主な意見		
(15) 英語の授業を中心に、国語や社会の授業等においてグローバル社会を踏まえた学習を展開した。次年度も授業等の工夫を重ねていきたい。	○妥当である。 ○引き続き指導をお願いしたい。		

8. 情報教育の推進及び学校図書館の充実

		自己評価	関係者評価
(16)	高度情報化社会に適切に対応していくことができるよう、各教科に応じた情報活用能力の育成を目指す情報教育の推進に努めている。	4. 5	妥当である。
(17)	学校図書館を整備し、児童生徒の読書活動の充実に努めている。	6. 8	妥当である。
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(16)	技術の授業を中心に、情報活用能力の向上に努めた。特に、情報モラルの指導はていねいに行った。生徒にも情報端末が普及している現状であるので、今後も継続していきたい。	○妥当である。 ○インターネットやスマホの使用はとても心配なので、引き続き指導していただきたい。	
(17)	図書館司書と連携して、図書室の整備を行った。また、朝読書の時間を設定し、本に親しむ時間を確保した。次年度も読書活動の推進を継続していきたい。		

9. 学校校地の自然環境の整備と自然体験学習の推進向上

		自己評価	関係者評価
(18)	校地内に花と緑の潤いのある教育環境をつくとともに、児童生徒の自然体験学習の充実に努め、自分たちの住んでいる地域の自然環境を守り大切にしようとする心の育成に努めている。	5. 8	妥当である。
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(18)	「花のまち柴田」を意識し、フラワーコーディネーターの指導のもと、緑化環境を整えてきた。また、ボランティア委員会が中心となって、環境整備の活動を行った。豊かな心をはぐくむためにも次年度も継続していきたい。	○妥当である。 ○環境整備は大切である。これからも美しい学校をつくってほしい。	

10. 教職員の資質及び指導力の充実・向上

		自己評価	関係者評価
(19)	教職員の自己研修を促し、指導力向上を図るとともに、学校課題の解決を図る校内研究・校内研修を積極的に推進している。	7. 0	妥当である。
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(19)	校内研究、校内研修とともに、外部での研修会にも参加し、資質の向上に努めた。若年層の教員には、中堅教員が中心となって日頃から指導してきた。また、外部の方からの助言を大切に、教育活動に生かすように努力してきた。次年度も教職員の資質向上、学校の教育力向上に尽力していきたい。	○妥当である。 ○先生方の一生懸命な姿が感じられる。これからもよろしくお願ひしたい。	

11. その他

		自己評価	関係者評価
(20)	子供たちと一緒に話をしたり、教育相談をするなどのふれ合う機会を多くつくっている。	5.8	妥当である。
(21)	子供たちは充実した学校生活を送っている。	6.0	妥当である。
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(20) 学級担任を中心に生徒とふれ合う時間を確保し、生徒の実態を把握し、指導に当たっている。今後も生徒とふれ合う時間を確保するように配慮していきたい。 (21) 生徒に充実感を味わわせるために、行事や学習の工夫を行っている。生徒の実態を踏まえ、充実した学校生活を送ることができるよう、今後も努力していきたい。		○妥当である。 ○先生方は、授業、部活動、行事などで、生徒のために一生懸命に取り組んでいる。	

12. 教育目標について

		自己評価	関係者評価
(22)	教育目標「心豊かで、たくましく、生き生きと学ぶ生徒の育成」が、学校の教育活動において具現化されている。	5.8	妥当である。
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(22) 教育目標を受けて、目指す生徒像「琢・恕・鍛」を設定した。 琢（生き生きと学ぶ）；主体的な学習と学習習慣の形成についての工夫を行った。 恕（心豊かで）；授業、環境整備、体験活動等を通し、道徳的実践力の向上を図った。 鍛（たくましく）；授業、部活動、生徒会活動等で心身の健全な成長を促す取組を行った。		○妥当である。 ○教育目標及び目指す生徒像は、実態に即している。子どもたちのために、引き続き指導をお願いしたい。	

◆その他:学校関係者による主な意見

保護者が、もっと子どもから学校の話を開いたり学校に出向いたりして、子どもや先生方の活動の様子を知ってほしい。PTAでもそのための工夫をしていきたい。